学校番号	３２５

令和２年度　芸術（音楽科）

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校音楽Ⅰ　MOUSA1						
副教材等	Music　Note　（啓隆社）　音楽通論（教育芸術社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・生涯を通じて音楽に親しんで生活できるように、音楽の基礎基本を「歌唱」「楽器等の演奏」「創作」「鑑賞」を通して学びます。特に日本の伝統音楽には触れていきます。
・学習到達度は、取り組む姿勢　ワークシート　実技テスト、筆記テスト（レポートを含む）
・頭でっかちな知識でない、仲間たちとのアンサンブルなど、集団ならではの体験を積み重ねていきましょう。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞能力
観点の趣旨	・音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱　器楽　創作　鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	・音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら歌唱　器楽　創作の音楽表現を工夫しどのように表現するかについて表現意図を持っている。	・創意工夫を活かした音楽表現をするために必要な歌唱　器楽　創作の技能を身につけ、創造的に表している。	・音楽を形作っている要素を知覚しそれらの働きを感受しながら楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして音楽に対する理解を深める。良さや美しさを感受し言葉でも表現する。
評価方法	・観察 ・ワークシート	・観察 ・ワークシート	・発表 ・作品提出	・観察 ・調べ学習 レポート提出

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	歌詞が描く世界をイメージして、歌う。	・校歌 ・ひまわりの約束 ・少年時代 ・'O sole mio ・アカペラでハモろう ・デイ・ドリーム・ビリーバー ・見上げてごらん夜の星を ・荒野の果てに	○	○	○		a:意欲を持って、イメージしながら主体的に取り組もうとしている。 b:曲にあった表現を知覚、感受し、どのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現しようとすることを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	・観察 ・演奏の聴取
	ギターを演奏しよう	・第三の男 ・弾き語りに挑戦しよう ・デイ ドリーム ビリーバー ・コードネームを理解しよう	○	○	○		a:ギターの基礎的な奏法の特徴に関心をもち、弾き語りで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律と和音の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、を生かして表現を工夫している。 c:弾き語りするために必要なギターの基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表している。	・観察 ・ワークシート ・演奏の聴取
	合唱活動を楽しもう	・SOL FA ・サッカーによせて	○	○	○		a:曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、合唱をする学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能（発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方）を身に付け、協力し合い創造的に表している。	・観察 ・ワークシート ・演奏の聴取

2学期	リズム演奏、ボイスアンサンブルに挑戦 創作に挑戦	・ブラジル ・野菜の気持ち ・おのまとぺによるボイスアンサンブルを創作してみよう。	○	○	○	○	a:アンサンブルに関心を持ちその持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:リズムの特徴や反復変化を知覚しその働きを感受しながら表現したい音楽をイメージする。 ｃ:リズム譜を読譜し表現したいことを伝えるための技能を身につけている。 d：サンバのリズムを鑑賞し、アンサンブルでサンバのリズムを体感する。	・観察 ・ワークシート ・演奏の聴取 ・レポート ・
	歌曲に親しもう。外国語の曲に挑戦。	・caro mio ben ・ハバネラ　闘牛士の歌 ・ドレミの歌 ・野ばら	○	○	○		a:曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、リズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ・演奏の聴取
	リコーダーで表現しよう。	・ブラジル ・見上げてごらん　夜の星を ・ザナルカンドにて	○	○	○		a:リコーダーの音色や奏法の特徴、楽器の歴史などに関心を持ち主体的に演奏に取り組もうとしている。 b:リコーダーの音色、楽曲のフレージングや強弱を感じながらどのように演奏するか表現意図を持っている。 c:リコーダーの音色や奏法の特徴を生かした技能を身につけ創造的に表現している。	・観察 ・ワークシート ・演奏の聴取

	日本の伝統音楽について知ろう	・和楽器やそれを用いて演奏される我が国伝統の音楽について調べ　興味を深める。 ・尺八を鳴らしてみよう	○				a:わが国古来の楽器である尺八を実際にならしてみることにより、我が国の伝統楽器　音楽に主体的に調べたり演奏したり主体的に取り組もうとする。	・観察 ・レポート
3学期	舞台芸術を知ろう	・能　狂言　歌舞伎　文楽 ・ オペラ　カルメン	○			○	a:総合芸術オペラや日本の伝統芸能の特徴に、関心をもち、類似点や違いを認識しながら鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:声の音色と表現上の効果との関わりを知覚、感受し、オペラや日本の芸能の理解を深め、よさや美しさを創造的に味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・レポート
	西洋音楽史や日本音楽史について知ろう	・日本や外国の地理や歴史も含め西洋音楽史の流れを知る	○			○	a:西洋音楽史の流れに関心を持ち主体的に取り組もうとしている。 ｄ:それぞれの時代の曲を鑑賞し自分の感想をもつ。	・確認テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:表現の創意工夫
　　c:音楽表現の技能　　d:鑑賞能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点について○を付けている。